

あおぞら会議について

令和2年12月21日（月）に開催されました「あおぞら会議」の概要は、次のとおりです。

1 日時 令和2年12月21日（月） 午後3時00分から同4時30分頃まで

2 場所 役場第二分庁舎大会議室

3 参加者

御船町観光協会：沖田会長、小島副会長、津金副会長、永本顧問、工藤人材育成部長、
麻生観光事業部長、福味未来創造部長、岩瀬事務局長

御船町議会：池田議長、中城副議長、清水議員、岩永議員、増田議員、福本議員
(議長、議会運営委員会)

4 会議次第

(1) 開会：中城副議長

(2) 議長挨拶

池田議長は、「本日のあおぞら会議は、熊本地震からの復興のシンボルとされるコストコの進出が契機となり、御船町がさらに発展していくような忌憚のない意見をいただけたら。また、新型コロナウイルス感染防止のため、私と議会運営委員会の5人という少人数での対応となる。」と挨拶。

(3) 代表者挨拶

沖田御船町観光協会代表理事は、「御船町観光協会は、どうやったらワクワクする御船町になるのか、ということをいつも考えながら活動している。With コロナの中で、コロナ後を見据えた部分で私たちも議員の皆様と一緒に考えていきたいと思う。」と挨拶。



(4) 意見交換 議事進行：池田議長

議題1 コストコ対策について・・・

＜来町者の誘導、受け入れ体制＞

観光協会（以下「観光」）：①駐車場の確保 ②各施設の看板設置 ③コストコ内の観光案内マップ設置、観光チラシ・パンフレットの設置場所の確保 ④コストコ来客者の優遇対策 ⑤御船町特産物イサギのブラッシュアップ ⑥誘客イベントの開催 ⑦宿泊施設の充実 ⑧御船（町）施設の見直し・体験授業の立ち上げ が必要になる。コストコ内観光案内マップや観光チラシといった観光PRスペースを置いていただけたら。コストコに対してその辺の呼びかけは町からされているか。

議会：町は、観光案内・サインの設置、レシートラリーを実施する方向であり、恐竜博物館や緑の村等への回遊、滞在時間を長くするかが課題で、観光協会と一緒にやっていくとのこと。議会として同一歩調をとれる部分については協力し、いろんな提言を受けて執行部に提言していきたいが、私たちは行政がやっていることをチェックする側で、その辺をご理解いただければ。

観光：議会は執行機関ではないとわかったうえで、議員が私たちと同様の認識でいることは大事。役割分担として、観光施設をつくるのは行政の役割で、その施設を利用してお客さんに喜んでもらうのが我々の役目。そういった環境づくりを目指すのが第一歩で、そういう認識を持って執行部に働きかけてもらいたい。

議会：まだまだ足りない部分はあるが、今あるものを利用していかないといけない。コストコに来られた方が、町なかや吉無田高原等に足を運んでもらえるよう、議会としても執行部に意見を出していく。

観光：今あるものをPR・ブラッシュアップしていくしかなく、難しいところ。キャンプブームであるが、緑の村はあんまりいい施設ではないと言われがち。緑の村キャンプ場をどう活性化させるかお聞かせいただきたい。

議会：手軽にキャンプが楽しめるオートキャンプが流行っている。吉無田はオートキャンプに向いていないのか。そうであれば、道路整備をしなければいけないとかアイデアを耳にされたりとかはないか。

観光：商売の基本的に、雪や雨天時でも利用できるような年間通じて利益が上がる施設にしないといけない。他にも、（下にある）防災施設となっている管理棟は、老朽化しているので補助金を取り入れて整備した方がいい。また、イベント会場としては休みがあってもいいが、宿泊施設で休みがあるところはない。そういった根本的なところから入っていかないといけない。

議会：奥の方にある宿泊施設を解体した方がいいという意見が議会のなかで出ている。また、避難所にもなる管理棟も違う形に変えていかないといけないという意見は議員みんなが共通で持っている。ただ執行部としては財源がない。商工観光課ばかりでなく知恵を出し合うことがもっと必要。民間の活力を導入して、いろんなアイデアを出しながら、観光協会から指定管理で手を挙げてもらった方がいい。

議題２ 観光資源活用について・・・

＜まちなか活性、各施設との連携＞

観光：御船町には、西南戦争の激戦地や石橋などたくさんの観光資源があるなか、恐竜と吉無田という二つの観光を軸とした拠点づくりが必要。町民中心になるが、各団体や組織が団結して町を盛り上げていかないといけない。心配するのは各団体との連携で、特に恐竜博物館との連携がうまくいっていない。吉無田高原の活用もうまくいっていない。黒川温泉や阿蘇神社の周りはずべて看板が統一され見やすくなっている。吉無田も景観を損ねない統一感を持った看板の設置ができれば。また、行政で５ヵ年計画などを立ててもらおうと、PR やお金を落とす仕組みづくりは観光協会のできる。５年後緑の村をどういう風にするというのを町民に言えるのかということが大事。

議会：道整備交付金で、吉無田まで時間短縮で行けるような道路整備の計画はある。看板については、コストコや町のいろんな施設に看板を立てるという計画もある。運営に関しては効率的な活用は町では無理なので、観光協会と連携をとりながら、議会としても町へ提言していきたい。

観光：御船町の観光資源を運営していくのに指定管理がいいということだが、指定管理をする団体が利益を上げるために、例えばふれあい広場の使用料をとるなど、ある程度許容してもらわないといけない。議会としてもそこは理解をしてほしい。それから、コストコ進出で

心配するのは、コストコ周辺に商業施設がいっぱい集まって、こっちは置いてけぼりになるということ。農振はコストコのところだけか？その後はどうなるか？

議会：コストコは農業振興地域だったが、準工業地域として用途替えをしてコストコができる。あの周辺や国道 443 号、445 号周辺は将来の商業施設の誘致ゾーンということで計画はしてある。ただ、乱開発とならないよう計画的にやっていかないといけない。それと、恐竜博物館と連携がうまくできていないとあったがどういった点か。

観光：恐竜博物館の一階部分には観光案内所といった施設がない。ゴールデンウィークに交流ギャラリーを借りて恐竜のイベントや遊具施設を入れたイベントをしたが、正面玄関を開ける開けないで議論になり、結局、正面玄関を開けてもらえないということが度重なった。また、博物館では化石発掘体験の案内をされてなく、看板等も置かせてもらえない。以前に、恐竜博物館を見て化石発掘体験をしようと思ったが間に合わなかったというお客様がいた。案内があれば先に発掘体験をし恐竜博物館は後で見たのに、ということだった。博物館に化石発掘体験やその時間表、観光マップなどを置くことが恐竜博物館の基本構想である「地域へ貢献する」という意味ではないのか。そういった連携ができないようであれば、博物館として町民の理解は得られないのでは。恐竜というキラーコンテンツを活かして、博物館で終わるのではなく、周遊する仕組みづくりを是非していただきたい。それと、周遊チケットを商工観光課がつくってくれたが、販売券は一番奥にある。本来なら一番入口に置くはずだが、置かせてもらえない。また、あるお客様は、博物館の受付でこの辺はご飯を食べるところがないと言われたということだったが、帰りにうちのレストランを見つけて来られた。これは、博物館の受付は観光に対しての機能ができていないということなので、あの機能ごと民間に委託するというのも手だと思う。

議題 3 ふれあい公園の活用について・・・

<公園管理及び公園の利用方法>

観光：12 月 18 日に除幕式が行われたふれあい交流センターについて、公園施設の管理という形で観光協会が指定管理を目標に動いている。今後、公園のどのような活用を望まれているか、どのようなサービスレベルを要望されるのか、どのような運営方法を行った方がいいのかをお聞きしたい。町民はどのような施設が建ち、公園がどう変わるのかと期待している。

仮に観光協会が指定管理を受けるなら、今まで培ってきた観光のノウハウを活かし、公園に新たな観光施設の拠点を設けたい。観光協会が入る意味合いとして、観光施設の紹介や賑わい創出という形で、例えば月1回のマルシェ等の開催。化石発掘体験は将来的に公園の方でできればというふうに計画している。

議会：指定管理を受けて動き出すのか、それともアクションを起こしているが役場側がなかなか許可を出さないのか、そうであれば許可を出さない理由と壁を取っ払うためにどう動くべきか？指定管理に向けてなにかハードルはあるか？

観光：指定管理の決定はしていないが、指定管理の方向で町と話は進んでいる。それと、ふれあい広場は商工観光課と建設課にまたがっている。私たちとしては権限を商工観光課に一本化してもらおうとやりやすい。また、ふれあい広場を使うに当たって条例がある。この条例を改正しなくては使い勝手のいい公園とはならない。議会には条例改正についてのご理解をいただきたい。

議会：御船町には物産館が無いよねということを町民から聞くので、賑わいの創出のためにマルシェもいい。それと、地域の農産物の他に、個人でしているような竹細工等の特産品がある。そういった珍しいものを展示するといいのではないか。

観光：竹細工は何回ももらったが失くしてしまう。ただ、自分で金を払うと大事にし、財産となる。昔は御船の竹箸はものすごく有名だった。地域住民の人たちも御船にこんなものがあるんだという再発見になる。そういったことも観光協会の重要な仕事。それと博物館から公園や街なかギャラリーまで歩くのは少し遠いので、土日祭日だけでも、ワンコインでいいから周遊バスのようなものがあるといい。また、恐竜化石が見つかったという話は長いこと聞かない。発掘調査にもう少しお金をかけて博物館のPRをした方がいい。

議会：天草で出たのは十五年くらい前のものが実証されたため。すぐ出てくるわけではないから地道にやっついていかないといけない。ロッキー博物館との連携に力を入れすぎているという話もあるが、連携も発掘もどちらも大事なので難しいところ。

観光：化石のクリーニングには結構時間がかかる。地道ではあるが、掘ってますよというアピールになる。

議会：クリーニング前のものがコンテナ約450箱残っているとのこと。町長はロッキー博物館との連携も発掘も、どちらも調整していかないといけないということなので、私たち議員

はきちんと連携が取れているかを見ていかないといけない立場。それと、あおぞら会議というのは私たちにとって情報を仕入れる場面で、看板の統一の件にしても言われて気が付いた。どんどんこういう場面で教えてもらい、我々は勉強していかないといけない。そして観光協会の方々から要望をもらってからそれを行政に伝えるというのが我々の仕事。

観光：マミコウロードと基幹林道には、無料区間の専用道路があるという看板を付けた方がいい。地元の人以外はほとんど知らない。また、店の看板は個々に付けているが、町が補助を出すか民もお金を出すなどの方法で協力して、統一した方がよい。バスに関しては、企画財政課と新たな公共交通網再編計画がある。せっかく公共交通再編計画をするなら、予算的な面もあるが、観光資源と組み合わせるような路線作成をすればいいなと考えている。例えば、小坂方面となると街なかギャラリーを通っていける路線になるだろうし、木倉・高木なら、そのまま延伸して小池高山通って吉無田行ってとか。今ある水越・田代を延伸させて吉無田通って周遊するような、いろんな案を出している。

議会：ふれあい広場の活用方法の一環として、道の駅にするなど、いろんな公園の活用方法が出てくる。そこを中心とした地域資源の活用となればすごい。

観光：役場がバスの拠点としてのハブとなるのもいいが、少し狭い。公園がハブとなれば賑わいの創出にもなる。協議や申請が必要ではあるが、大きな問題ではない。

議会：増見鶴を通るバスは町中心部へは行かず利便性が悪い。高木や上野でも路線がどうにかならないかという話を聞いた。こういった不便な地域は多々あるが、企画財政課では、バス停から半径 500m 内にバス停がない公共交通の空白地域を把握しているとのことなので、公共交通網再編計画としてワクワクするプランをどんどん出していれば。

観光：半径 500m というのは熊本市内で、郡部は半径 200m。結構な空白地域があって、そうすると一本当たりの路線が 1 時間を超えると、逆に利便性が悪くなる。どのように空白地域を通っていくのか協議が必要で、かといってたくさん路線走らせるとその分経費が嵩む。

それと、熊本駅と御船間のバス路線について、バス一本で行けないのは不便。鹿児島から来られたお客様は、熊本駅から水前寺駅でバスに乗り換えて木山経由で御船まで来て 1 時間半かかったとのこと。これは、おそらく嘉島も山都も甲佐もそうだと思う。4 町で連携して要望を挙げていかないといけない。

観光：御船の観光の大きなひとつの素材として、城山公園と妙見坂公園がある。吉無田も同

様だが、木が茂りすぎているため下に日が差さないので、ある程度間引いて公園らしい木陰にした方がいい。計画を立ててもらえば、例えばライオンズクラブ等で定期的な整備をして、使える公園にもっていくことができる。あとは墓参りに来た人が止められるように軍人墓地の上の方に駐車場をつくっていただくとか。4年計画5年計画といったグランドデザインを示してもらえば、ライオンズクラブや地域の人、民間の力で維持管理というものができていけるのではないかな。八勢橋の左岸の川沿いの竹やぶを伐採して公園化するというのはライオンズクラブが県と協議しながらやっている。八勢橋やその周辺、城山公園にしても整備することで、来た観光客は時間を町なかで使える。そういった既存の素材を磨き上げるという部分を議会でも考えていただくと、私たちもそれに乗っかって、ボランティアを集めたりしてやっていけるのではないかな。

(5) 閉会：中城副議長

